

おだかいさま

ODAGAISAMA

113号
令和6年
8月1日発行



高校生ボランティアの新たな一歩!

自分に今できることを、小さなことから一緒にやろう!

鶴岡市内の各高校の部活やボランティアサークルの生徒さんたちは、身近な地域で様々なボランティア活動に取り組んでいます。近年はコロナ禍により活動が制限されたり、機会を失ったりすることもありましたが、工夫をしながらできる範囲で活動を続けてきました。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類」に位置づけられ、地域がコロナ禍前の日常に戻りつつある今、新たなスタートを切った高校生ボランティアが『致道館高校 JRC (青少年赤十字)』です。

致道館高校は、鶴岡南高校と鶴岡北高校の統合により設立されました。統合前の両校にはそれぞれボランティア部があり、長い間地域の

人たちと関わりながら幅広いボランティア活動に取り組んできました。その実績が認められ、地域福祉の向上を目指して地道な努力を続ける個人・団体を顕彰する「愛の鳩賞(主催:公益財団法人山新放送愛の事業団、山形新聞、山形放送)」を両校共に受賞しています。

『致道館高校 JRC (青少年赤十字)』では、この4月に新入部員を迎え、気持ちも新たに活動に取り組んでいます。生徒さんたちの声を、次のページで紹介します。



Interview



塩野
日和子
さん

副部長
清野
奏人
さん

部長
藤野
紗帆
さん

渡邊
花菜子
さん

致道館高校 JRC (青少年赤十字) : 3年生4名に新たに1~2年生 (旧鶴岡北高校の生徒も含む) 15名が入部し現在19名所属。「ボランティア精神が学校全体に広がっていくこと」を目標に掲げ、部員以外の生徒にも参加を呼びかけながら、イベントへの協力、海外たすけあい募金活動や古切手の仕分け等を行っている。

「地域のみなさん。私たちが高校生を誘ってくださいます。」
地域が一步でも前に進む その時間を共有したいから…



致道館高等学校JRC3年生へインタビューを行いました。その一部を紹介します。

Q JRC の活動のやりがいは?

日常生活では関わる事が無い幅広い年齢層の方や外国の方とも関われるし、人の優しさにもふれられる所です。また、お礼を言われたり、社会貢献できていると思うとやっぱりうれしいです。イベントへの協力では運営側の思いを聞くことができ、物事を複数の視点でみることができ勉強になります。

Q 自分が成長したこと 活動してよかったと思うことは?

自分は何が好きなのか、何に興味があるのかなど、自分を見つめることができました。また、他校の生徒やイベントの運営側の方と協力する楽しさ、人と人との支え合いに気づくことができ、いろんな人とつながるきっかけになったと思います。

取材後記

将来を担っていく高校生ボランティアをはじめとした生徒の皆さんが「地域に対してどんな行動をすべきか」を考え、「誰かのために行動することが自分自身の成長につながる」ことに気付く、そんな“ふくしの心”を育み、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域づくりにつながってほしいと願っています。

高校生は接客、力仕事、子どものお世話、カメラ、デザイン等、得意なことは様々です。「高校生はこんなこともできるのかな?」ということ、ぜひ一度ご相談してみませんか。

■お問合せ先 鶴岡市ボランティアセンター TEL 0235(23)2970

Q 後輩にして欲しい活動は?

新型コロナウイルス感染症対策でこれまでは募金活動や古切手仕分け、依頼されたイベント等の手伝いなど、積極的な活動があまりできなかったのも、これからはもっと活動の幅を広げているんなボランティア活動をして欲しいです。そして、今年の4月から致道館高校の基本理念に「社会的使命の遂行」が追加となり、ボランティア活動の素晴らしさが学校全体に広まって欲しいと思います。

Q 今後の活動、想いは?

普段の暮らしや仕事、イベント、ボランティア活動にぜひ高校生を誘っていただき、一緒に活動したいですね。地域に住む方々や福祉施設、団体等の活動や想いを知り、自分たちが住む地域への理解が深まると思っています。



あしたば・あぐりランド (社会福祉法人 月山福祉会)

月山福祉会は令和6年4月1日から「無料職業紹介所」と農福連携による「共生社会創造事業」を開始しました。この事業は、働きづらさを抱えるひきこもり者、高齢者、障がい者、刑余者などの潜在的求職者の方々に対し、不安や悩みに寄り添いながら就労支援を行うものです。

一方で、山形県は農業が盛んな地域ですが、就農者の高齢化や離農、後継者不在による耕作放棄地の増大が課題となっています。そこで本事業を通して農業が必要としている「働き手」と「潜在的労働力」をマッチングさせることを目指します。また、求職者の幅広いニーズに応えるため、農業だけでなく商工業やサービス業といった業種の求人掘り起こしも「無料職業紹介所」を通じながら就労へ導きます。

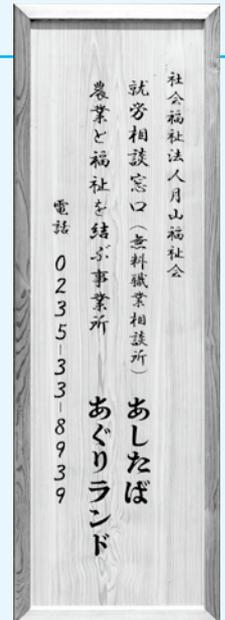
この取り組みによって生まれる多様なネットワークを通じて、人と人、人と社会がつながり、誰もが支え合う地域の実現を期待します。

■お問合せ先

あしたば・あぐりランド (社会福祉法人月山福祉会)
鶴岡市馬場町1-6 TEL & FAX 0235 (33) 8939



◀より詳しい情報をホームページに掲載しています。



情報掲示板

令和6年度「ふれあい福祉相談」のご案内

●職員による相談

生活の困りごとや失業、病気などにより生活の維持が困難な世帯の生計に関することなど、福祉全般にかかわる困りごとに職員が応じ、関係機関と連携しながら解決に向けて継続的に支援を行う相談窓口です。ご家族や関係者の方も相談可能ですので、まずはお気軽にご相談ください。

日時：月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15

場所：各福祉センター(問い合わせ先/ページ下段に記載)

●巡回弁護士相談(下半期10月～3月)

10月 9日(水) 10:00～15:00	温海福祉センター
10月16日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
11月13日(水) 10:00～15:00	藤島福祉センター
12月18日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
1月15日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
2月19日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課
3月12日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター 地域福祉課

※相談料金は無料、相談時間はお一人30分です。

※相談は予約制となっております。各日程の1か月前から予約を受け付けます。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます

(令和6年5月1日から令和6年6月30日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎羽黒福祉センターへ

・斉藤 すゑ子 様 7,615円

◎櫛引福祉センターへ

・佐藤 てる子 様 26,802円

◎温海福祉センターへ

・三浦 一幸 様 20,000円

★鶴岡市障害者相談支援センターへ

・青山 勝彦 様 日本語手話辞典

★鶴岡市ボランティアセンター、各事業所へ

・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部 様
タオル 218枚

★くしびき西部保育園へ

・英 侑子 様 ボールプール用ボール 120個

★児童福祉事業へ

・国際ソロプチミスト鶴岡 様 100,000円

★フードバンクへ

・佐藤 金二 様 玄米 30kg

・つるおか森の時間 様 食品 16点

・阿部 政志 様 玄米 60kg

★NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワークの能登半島地震支援活動へ

・蟻坂 隆 様 (宮城県石巻市) 10,000円

★デイサービスセンターとようらへ

・三瀬二班ほっこり会 様 ウェス 100枚

・堅苔沢婦人会 様 手作り新聞紙袋 200枚

・岩ゆり会 様 介護用品 4点

ウェス 200枚

手作り新聞紙袋 100枚

ウェス 400枚

★はちもりへ

・三瀬二班ほっこり会 様 ウェス 5kg

・堅苔沢婦人会 様 手作り新聞紙袋 230枚

おだがいさま



第113号
令和6年8月1日発行
発行部数 47,600部

編集・発行

社会福祉法人 **鶴岡市社会福祉協議会**

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815

FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター

地域福祉課 TEL 26-9222

生活支援課 TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114